

名称	大型降雨実験装置					
概要	本実験装置は、最大時間雨量200mm/h までの雨を人工的に降らせることができるもので、雨による斜面の崩壊実験のほか、各種センサーの降雨下における性能評価試験にも利用できます。					
特徴・諸元	<p>国内でも数少ない最大級の降雨実験装置であり、5種類のノズルを使い分けることにより、時間雨量7～200mm/h の雨を降らせることができます。本実験装置全体は屋内にあり、自然の雨や風など天候の影響を受けることなく実験できます。また、実験土槽内に小さな斜面模型などの試験体を多数セットすることで、同一の降雨条件での実験が一度にできます。</p> <p>◆主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="335 616 1439 922"> <tr> <td data-bbox="335 616 590 795">〔散水装置〕 散水能力 散水ノズル ポンプ</td> <td data-bbox="590 616 1439 795">7～200mm/h 5種類×26箇所（地上から高さ13m の位置） 最大送水能力毎分430 リットル</td> </tr> <tr> <td data-bbox="335 795 590 922">〔実験土槽〕 寸法 その他</td> <td data-bbox="590 795 1439 922">幅6m×奥行き12m×高さ5m（鋼製） 土槽の背面には給水孔を設けてあり、ここから斜面模型に給水することで、斜面内の地下水を模擬することも可能。</td> </tr> </table>		〔散水装置〕 散水能力 散水ノズル ポンプ	7～200mm/h 5種類×26箇所（地上から高さ13m の位置） 最大送水能力毎分430 リットル	〔実験土槽〕 寸法 その他	幅6m×奥行き12m×高さ5m（鋼製） 土槽の背面には給水孔を設けてあり、ここから斜面模型に給水することで、斜面内の地下水を模擬することも可能。
〔散水装置〕 散水能力 散水ノズル ポンプ	7～200mm/h 5種類×26箇所（地上から高さ13m の位置） 最大送水能力毎分430 リットル					
〔実験土槽〕 寸法 その他	幅6m×奥行き12m×高さ5m（鋼製） 土槽の背面には給水孔を設けてあり、ここから斜面模型に給水することで、斜面内の地下水を模擬することも可能。					
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="375 963 917 1523"> <p>実験土槽</p>  </div> <div data-bbox="1029 996 1300 1310"> <p>散水ノズル(26箇所)</p>  <p>5種類ノズル</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="406 1545 662 1836">  <p>盛土崩壊実験</p> </div> <div data-bbox="630 1545 949 1982"> <p>散水前</p>  </div> <div data-bbox="1005 1545 1332 1982"> <p>崩壊後</p>  </div> </div>					
担当部署	防災技術研究部 地盤防災					